

令和 6 年度
学校関係者評価報告書

令和 7 年 3 月 31 日

学校法人すみれ学園

四国医療工学専門学校

1.学校関係者評価委員会

委員

田中 修一 委員（高知県立清水高等学校 校長）

福永 留里子 委員（医療法人さくらの里 だいいちリハビリテーション病院
医事課課長）

村上 武 委員（高知大学医学部附属病院 次世代医療創造センター
副センター長）

北岡 加恵 委員（株式会社 Yell Pharmacy 人財開発課長）

野村 直美 委員（本校在校生保護者）

学校

森本 民之助（校長）

清岡 鈴子（医療情報学科長）

吉田 拓矢（臨床工学学科長）

山崎 美優（事務課職員）

（計 9 名）

2.学校関係者評価の実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたり、学校関係者評価委員に本校作成の自己評価報告書の結果を説明し、各委員から評価結果についてのご意見をいただいた。各委員からいただいたご意見は、本報告書の中に取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に生かし、教育の向上に努める。また、本報告書はホームページにて評価結果を公表する。

3.学校関係者評価委員会 開催日時

令和 7 年 3 月 10 日（月曜日）10 時 00 分～10 時 50 分 本校 5 階基礎医学実習室

1.開 会

2.校長挨拶

3.出席者紹介

4.自己評価報告書説明

5.質疑応答

自己評価報告書について、質疑応答や改善点の提案等について意見交換（別紙参照）

6.総 括

7.閉 会

別紙

令和 6 年度 学校関係者評価委員会 質疑応答・意見内容

発言者	質疑応答・意見内容
委員 1	臨床工学技士の国家試験に合格できなかった方についてはどのようなフォローをされていますか。
吉田学科長	聴講生制度を設けており、フォローをしている。実際に聴講生制度を利用した方については、その年に国家試験に合格しており、また県内就職までサポートすることができました。
委員 2	せっかく 3 年間勉強してきたわけですので、卒業後も不合格になった方をしっかりとフォローしていただけて良いかと思います。
委員 3	非常に細かい評価項目があり、非常に感心しました。また、国家試験をはじめとする高い合格率、成果をしっかりと出されている。量的な評価に加えて、やはり学びの質をどのように担保するのが重視されている。過程の中でどのように学びを積み重ねてきたのかというプロセスを可視化することが重要かと考えます。 また、学生のアンケートや実習先の評価なども、資料の中に加えていただけるとありがたいです。
委員 4	評価自体は細やかに取り組まれているかと感じます。実績などを更に数値化及び見える化をされると良いかと思います。 保護者目線からの感想になりますが、課題に対して自主的な意欲が低いので、春休みなどの長期休暇中に補習などが組み込まれていると安心します。国家試験に合格していく、啓発、コミュニケーションなどの活動されていることは伝わりました。
吉田学科長	春休み等の長期間の過ごし方につきましては人それぞれの過ごし方があり、学校から様々な課題で縛るよりは、自由に使える時間を設けることで学生の自主的な活動に使えるメリットもあります。ボランティアや海外旅行などで多くの経験をしている学生もおります。長期休暇の過ごし方のモデルケースなどを示す方法などはあるかと感じます。

森本校長	皆様からは、今後、私共が目指していくべきエッセンス的なところをお話しいただいたかと思います。評価のところについては、結果だけでなく、過程の部分も必要になるかと思います。頂いたご意見は、振り返りながら確実に改善していきたいと思います。本当にありがとうございました。
------	---